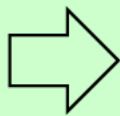


農業用水を活用し、花き栽培で収益向上

～遠藤 清志 氏～

経営体の概要

就農時：昭和15年度
 基幹作物：水稲（作業委託）、花き
 （シクラメン）、花壇苗
 経営面積：1.5ha



現在：平成28年度
 基幹作物：水稲（作業委託）、花き
 （シクラメン、アジサイ、
 カーネーション）、花壇苗
 経営面積：1.3ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

平成15年に就農し、花壇苗を中心とした鉢花栽培を行っていたが、花壇苗の相場が下落して、他の生産者との品質による差別化が難しくなったことから島根県オリジナルアジサイの栽培に取り組み、共に同品種を栽培する生産者で構成する「島根県アジサイ研究会」を組織した。そのことにより、市場からの受注や、PR活動などの有利販売に向けた取り組みを行い、収益性の向上を図っている。また、本事業により安定的な用水供給が可能となったことで、給水作業の省略化や水道料の経費節減等による低コスト化を図るなど農業経営の安定化に努めている。

営農改善のポイント

①作物の変化

花壇苗を中心とした鉢花栽培を行っていたが、ガーデニングブームが下火になり、花壇苗の相場が下落したため、一番の需要期である母の日商材の模索し、島根県農業技術センターが育種した島根県オリジナルアジサイ「万華鏡」を導入することで収益性の向上を図っている。



万華鏡

②省力化と低コスト化

シクラメンやアジサイなどの鉢花栽培には、C型鋼による底面給水栽培を採用し、鉢の底部に設置した給水ウイグにより鉢内の用土に給水することで給水作業の省力化を図るなど、鉢植えの土で汚れ商品の価値が下がるような工夫をしている。また、本事業により安定的な用水供給が可能となり、シクラメンを露地で育苗する際に必要な水道水による用水確保のための労力と経費が節減となり、省力化・低コスト化が図られている。



底面給水栽培

③流通・販売の工夫

市場で行うトレードフェアに参加し、生花店や仲卸業者と直接交渉して注文を受ける営業活動に積極的に取り組んでいる。また、「万華鏡」については、生産者個人ではなく、島根県アジサイ研究会として注文を受けることで、一生産者では受けきれない多量の注文も複数の生産者で受けることにより、大型受注も可能としている。



施設による花き栽培

事業概要

事業種：国営農業用水再編対策事業
 関係市町：出雲市
 受益面積：3,728ha
 事業期間：平成17年～平成28年
 事業目的：用水改良
 主要工事：用水路の新設・改修49.7km、揚水
 機場等の改修3ヶ所、汐止堰新設1
 ヶ所、水管理システムの整備一式 他

位置図（島根県）



斐伊川沿岸地区

<局問い合わせ先>

中国四国農政局
 農村振興部農村環境課
 電話：086-224-4511
 （内線：2562）

（平成28年度調査時点）